

三年とうげ ① 一の場面（冒頭くおそるおそる歩きました。）

一、三年とうげの「ながめ」と「言いつたえ」を一言で表しましょう。

三年とうげの「ながめ」を一言であらわすと	どの言葉や文で上のように思いましたか。

三年とうげの「言いつたえ」を一言であらわすと	どの言葉や文で上のように思いましたか。

二、三年峠はどのようなとうげだと思いますか。理由も書きましょう。

三年とうげ ② 二の場面（ある秋……く村の人たちもみんな心配しました。）

一、おじいさんの気持ちが分かる言葉や文に線を引きましょう。（教科書）  
その中から三つ選び書き出しましょう。

おじいさんの気持ちが分かる言葉や文	分かったこと思ったこと

二、この場面のおじいさんの気持ちを一言で表しましょう。  
また、そのわけを書きましよう。

登場人物の気持ち  
・文末表現 ……としました。  
・会話文  
・ごんのしたことから  
気持ちをすいりする。

三年とうげ

③ 三の場面

(そんなある日のこと…)

く

「うん、なるほど、なるほど。」

一、次の三つのおじいさんの会話文から、その時の、おじいさんの気持ちを考えてみましょう。

おじいさんの言った言葉(会話文)	おじいさんの気持ち
「どうすればなおるんじや。」	
「ばかな。わしに、もっと早く死ねというのか。」	
「うん、なるほど、なるほど。」	

二、おじいさんの気持ちが変わったわけをまとめましょう。

三年とうげ ④ 四の場面（そして、ふとんから……） 一行あきまで

一、おじいさんの気持ちが分かる言葉や文に線を引きましょう。（教科書）  
その中から三つ選び書き出しましょう。

おじいさんの気持ちが分かる言葉や文	分かったこと、思ったこと

二、おじいさんの気持ちはどのようにかわりましたか。  
かわったわけも入れてまとめましょう。

はじめ、おじいさんは三年とうげでころんだので、三年きりしか生きられないとかなしんでいました。  
でも、

登場人物の気持ち  
・文末表現 ……としました。  
・会話文  
・ごんのことから  
気持ちをすいりする。

三年とうげ ⑤ 五の場面（一行あきく最後まで）

一、三年とうげの「言いつたえ」と、ぬるでの木のかげから聞こえてきた「歌」をそれぞれ一言で言い表しましょう

三年とうげで 転ぶでない。

○ 一言であらわすと、

三年とうげで 転んだならば、

三年きりしか 生きられぬ。

長生きしたけりや、

そのわけ

転ぶでないぞ。

三年とうげで 転んだならば、

長生きしたくも、生きられぬ。

えいやら えいやら えいやらや。

○ 一言であらわすと、

一ぺん転べば 三年で、

十ぺん転べば 三十年、

百ぺん転べば 三百年。

そのわけ

こけて 転んで ひざついて

しりもちついて でんぐりがえり、

長生きするとは、こりや めでたい。

二、ぬるでの木のかげで歌ったのはだれだと思いますか。そのわけも書きましょう。